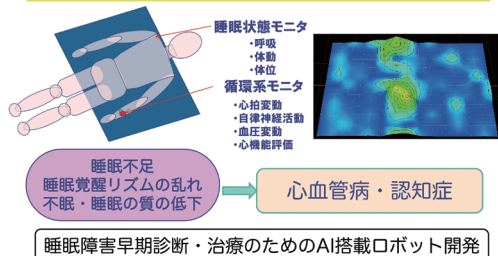




心血管病リスクイベントの検出

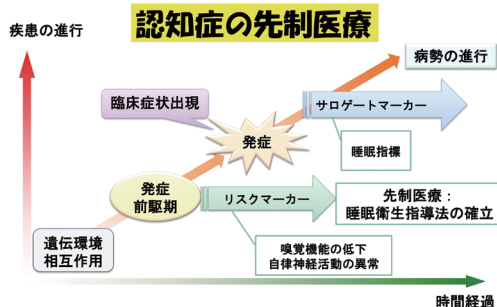


社会の24時間化および超高齢化により、睡眠時間や睡眠周期の変化は、眠気や疲労感の増大・気力の減退・注意や記憶力の低下など精神機能や認知機能の低下をもたらす。さらに、睡眠不足や睡眠障害は、肥満、生活習慣病および心血管病の罹患リスクを高め、こころとからだの健康を日々リスクに曝すことになる。また、これらは、交通事故や重大な産業事故も引き起こし、経済的損失は甚大であり、社会的問題となっている。

当研究室では、先制医療および健康管理に役立つAI搭載ロボット開発、健康長寿プログラムの開発および遠隔監視システムの構築に関する研究を進めている。

【研究テーマ】

- 睡眠障害・健康管理に役立つAI搭載ロボットの開発
- 健康寿命の延伸を目指した運動・睡眠衛生指導プログラムの開発
- 認知症および高血圧予防に関する研究
- 精神疾患診断・治療のための臨床検査技術の開発
- 睡眠・覚醒遠隔モニタリングに関する研究
- 心血管病と心不全の病態生理の解明と非薬物治療に関する研究
- 交通事故予防に関する研究



キーワード

心不全、睡眠障害、血圧変動計測技術、動脈硬化、脳機能評価、超音波検査技術、概日リズム

相談に応じられる内容

健康管理・疾病予防を目的としたAI搭載ロボットの開発、生体情報の遠隔モニタリング、心・脳機能に関する研究、画像診断技術、血圧変動に関する研究、健康管理と運動・スポーツ、不眠・過眠の予防、交通事故に関する研究

特許

P106参照